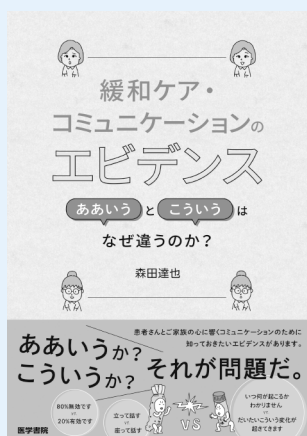


今月の

5冊



緩和ケア・コミュニケーションのエビデンス

ああいこういうはなぜ違うのか？

森田達也＝著

定価：2200円（本体2000円＋税10％）

発行：医学書院 ☎03-03817-5650

「20％有効です」「80％無効です」は同じ意味だが、聞いた患者の判断に影響を与えることもある。本書は、緩和ケアの臨床家が出会うさまざまな場面で、どちらの言い方がどう影響をもたらすのかを解説。患者や家族が培ってきた価値観や心のありようを伝える研究調査の結果に、臨床での困り事を解決するヒントがある。

認知症ケアの達人をめざす

予兆に気づきBPSDを予防して効果を見える化しよう

山口晴保、伊東美緒、藤生大我＝著

定価：1980円（本体1800円＋税10％）

発行：協同医書出版社 ☎03-3818-2361



認知症ケアにおいて常に課題となるBPSD。本書ではまずその定義からひととき、介護者からの度重なる指示の弊害、認知症の方が発する不同意メッセージに気付くことの大切さなど、BPSD回避の具体的方法を提示する。さらにケアする側がその予兆に気付くためのツールともなるBPSD+Qという評価票も紹介。

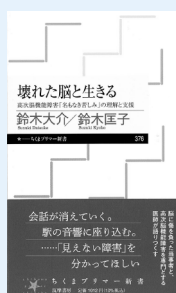
壊れた脳と生きる

高次脳機能障害「名もなき苦しみ」の理解と支援

鈴木大介、鈴木匡子＝著

定価：1012円（本体920円＋税10％）

発行：筑摩書房 ☎03-5687-2601



高次脳機能障害は、障害の特性も当事者が何に不自由を感じているのかも見えづらい。医療や支援の場ですら理解されず、制度も未発達で遅れている。どうしたら当事者の苦しみを受け止められ、共に進むことができるのか。当事者が支援者である医師とともにとことん考え抜いた。当事者と接点をもつ全ての人の必読書。

CKD保存期ケアガイド

一般社団法人日本腎不全看護学会＝監修

定価：3300円（本体3000円＋税10％）

発行：医学書院 ☎03-3817-5650



人工透析に至っていない慢性腎臓病（CKD）をCKD保存期という。透析導入をできるだけ遅らせるための看護や、効果的と言われるケアを明確にすることを目的に、エビデンスを提示しながら、セルフモニタリング、薬物療法、食事療法、運動療法、腎代替療法意思決定支援、さらに他者からの支援などについて解説する。

間違った医療

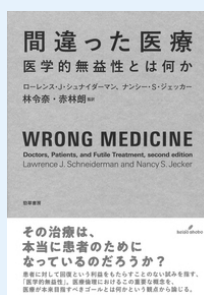
医学的無益性とは何か

ローレンス・J・シュナイダーマン、

ナンシー・S・ジェッカー＝著

定価：3520円（本体3200円＋税10％）

発行：勁草書房 ☎03-3814-6861



その治療は、本当に患者のためになっているのだろうか？ 本書では、米国の医療・司法の場でくり広げられる「医学的無益性」という概念についての議論を、事例を多用して解説。さらに医学的無益性と資源配分の違いにも触れ、高度に発展した医療が本来目指すべきゴールとは何かという観点から、あるべき議論の方向性を示す。